2022年11月30日（水）

「水曜サロン with 赤堀会長」第3期 第9回（通算39回）

参加者の積極的な意見交換を促すオンラインツール「LEARNWIZ ONE」について

中條 麟太郎 氏（株式会社LEARNWIZ代表取締役CEO）

１．内容

・開発の経緯

・使い方

・活用事例

２．所感

今回のテーマは、東京大学文学部発、学生が開発したアプリについて。イベントや授業に導入することで、参加者の主体的な参加を促す意見集約ツール。開発の経緯は、中條さんが大学2年生～3年生の2年間、コロナの影響で、ほぼオンライン講義となり、その講義は、先生が質問しても、学生は話しにくく、淡々と先生が話し続ける講義が続き、オンライン授業が面白くなかった、講義を面白いものにしたい、よりよい教育にしたい、そこがスタートとのことでした。昨年8月から東京大学の先生と東京大学のエンジニアと開発を開始し、2か月でベータ版を公開、7か月で会社設立、今年11月に正式版を公開するスピードで、今も要望を受け、アジャイル開発を続けているとのことです。ちなみに中條さんは起業するつもりはなかったとのことでした。そう考えると、大学の環境整備の素晴らしさも感じました。

活用事例もご紹介いただきました。科学と技術の世界史の授業で、小レポートを投稿して（Post）、ランダム絞って送られてきた他の学生の投稿を見て、評価コメント（View）、教員が人気順から、２、３取り上げて読み上げてコメントをする（Summarize）。授業した教員も成果に驚いたようでした。また、中学校の読解の授業（対面とオンラインのハイブリット授業）における活用も紹介いただきました。中條さんは、想定外の色々な使いかたに驚いているようで、授業にとどまらず需要が大きいと感じているとの話もいただきました。

極めつけは、質疑の時間。今日の水曜サロンの質疑は、このアプリを使いながら行いました。さて、質問の時間に入ると、いつもの会とは比べることのできないような質問、意見の数が寄せられてきました・・・。実際に利用してみて、文系らしい、心理学研究者らしい、ユーザーに優しい配慮が随所にみられるツールであることも見逃せないポイントでした。

最後に事務局に提案です。これからの水曜サロンの事前質問、当日の質疑は、これを使うのはいかがでしょうか！　中條さん、ありがとうございました。

以上